

第4回米原市定例教育委員会

日 時：平成26年4月22日
午後3時00分開会
場 所：山東庁舎3階
第2委員会室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 河居委員長職務代理者 堀田委員 小路委員
山本教育長

教 育 部 長：伊夫貴部長

教 育 総 務 課：田中次長 仲谷課長補佐

学 校 教 育 課：岡田課長

生 涯 学 習 課：西出課長

歴史文化財保護課：桂田課長

学 校 給 食 課：喜田課長

図 書 館：宮崎館長

こども未来部長：岩山部長

保 育 幼 稚 園 課：安食次長 川西主査

書 記：西村

1 開 会

2 委員長あいさつ

- 新年度に入って第1回の会議を新しいメンバーで始まります。定例委員会は毎月1回開催され、それぞれの部署の報告がある。次第にあるように、4番目に教育長からまとめて報告をいただくが、各所属で補足願いたい。
- 各学校で人事異動があり新鮮味がある。園だよりや学校だよりを見るとやる気が感じられる。春照小、坂田小の分は教育委員にはまだ届いていないが10日までにいただくと学校の様子分かるので情報提供をお願いしたい。教育長がいつも言っておられる地域に根ざした学校づくりについて書かれている学校だよりがいくつかある。特に目についたのが、河南小や東草野中の学校だよりで、校長の頑張ろうという意欲が見られる。元気いっぱい、やる気いっぱい、笑顔いっぱいというスローガン、子ども達の健康管理について柏原小や山東小にあがっていた。一方、いじめ問題に関わって双葉中などでは、人権スローガンということでいじめのない学級づくり、学校づくりをやっていたということであげておられた。大事なのは、保護者は見るのだが子ども達に校長の思いをしっかりと伝えるという事である。担任の先生はそれを配るだけでは校長の熱い思いが伝わ

らないので、その辺指導いただけるといいと思う。大原小の学校だよりも凡事徹底があがっていた。当たり前のことを続けて徹底してやるということだが、教育委員のメンバーとしても大事にやっていかなくてはいけない。

- 各学校の動きはどうか。中学校の修学旅行について終わった所や終わっていない所がある。連休明けの時期、子ども達の状況をしっかり掴んで行って欲しい。今年は新任の先生が多いので、先生の方にも目を向けて欲しい。
- 学力状況調査について大切なことは、子ども達が落ち着いた状況でしっかり授業を受けて、間違ってもいいからどんどん発表していくという雰囲気、学級づくりである。

出席者自己紹介

3 会議録承認

3月定例会議事録 承認

4 教育長報告

- 4月からスタートして、校園長会を含めて地域と共に歩む学校、魅力ある学校、そこには魅力ある教師がいるということを常に申しております。米原市全体が学びのまちづくりであり、教育振興計画に則っての教育推進を図っていきたく思っているので御協力願いたい。昨日、今日、明日と3日間市長の政策提案に対するヒアリングと、今年度の各部局の重点施策のヒアリングをやっており、昨日の午後教育部のヒアリングがあり説明した。

【教育総務課】

- 4月においては特に、教育総務のエアコンについて4月10日の入札がすべてうまくいきスタートできる。工事期間が大きく変わらない限りは8月の下旬には小学校には設置できるだろう。計画の中で中学校の設置に向けた動きを作っていく。

【学校教育課】

- 特に問題なく順調にスタートできた。かつては担任の問題で苦情もあり心配していたが、今年は大きなトラブルもなくスタートさせていただいた。修学旅行は河南中が東京方面へ行った。今日の学校のテストが終わってから中学校では明日から5月の連休前にかけて東京方面、あるいは4つの学校については沖縄方面の修学旅行に行く。韓国の事件もありますし非常に航路については心配もするが、その辺は最善の計画であたっているところでは。

【生涯学習課】

- スポーツ推進計画のもとに具体的な事業をスタートさせるということと、指定管理者との連携を密に図りながら課長を中心にいい関係の下、良い公民館の活動をしてもらえる

ように思っている。

【歴史文化財保護課】

- 東草野の方で委員会を立ち上げていただいて、色々な整備活用について検討していただくというところであります。昨日のヒアリング中では特に合併10年の記念事業として米原市文化を発信することで、それは何かということ流星は滋賀県では米原市だけだということ、何とか打ち上げができないかということで議論している。あくまで、安全を考えると場所の設定が難しい。皆様方のお知恵をお借りしたい。

【学校給食課】

- 残菜ゼロを議会でも出た関係もありまして12月の質問時には100キロ出ているものを50キロまで落としていこう、各学校では残菜を無くそうという取組を全市的に取り組もうと話している。アレルギーの問題については、市長からレベル4でいくのかという質問がありましたが、やっぱり従来どおりの提供をしていきたい。そのためには、体制整備も必要であり総務課にお願いをしていきたいと思っている。県費の栄養士は東部2人、西部2人いる。保育園、幼稚園の配食もしている関係で市の栄養士がもらえないか話を進めていきたいと思っている。

【図書館】

- 館長が来ていただいて図書館の本の表紙がよく見えるレイアウトに変えていただいて、入口付近から変わったなと思うし、48万冊の貸出冊数を目標にしているという話がありましたし、私も図書館へ行って本を借りようと思っておりますので、皆さん方もできるだけ我々から図書館に足を向けて変わった雰囲気を見ていただき、そして、沢山の本を借りていただけるとありがたいと思う。順調なスタートがきれて新しい雰囲気を作っているのだから報告とさせていただきます。

委員：学力調査についてコピーして指導に生かすということだったが、実際に私は数学が専門ですから、A問題、B問題の大体の見当が付くのですが、これを採点するだけではいけない。A君は何点、B君は何点というのは必要ない。例えば、数式の問題はどれぐらいできているのか、関数の問題はどうか、そこまで分析してこないといけない。コピーしたらすぐ採点ができるということで、どんどん話が走っているように思うが、コピーした後がもの凄く時間が掛かる。その辺各学校できっちりやっていたのか、どう考えておられるのか。

事務局：分析の内容については学校にお任せしている。前年度も、一度学力調査の問題を先生方がしてはどうかということでしていただいた。今回も答え合わせをして傾向を見てもらう。つまり、どういう問題が間違っているのか現状を見てもらうということが必要だと思っている。学校の実情に応じてすべての学校でできない所も出てくるかもしれないが、皆さんに承諾していただいた。この調査をできるだけ多くの先生に見ていただくということが大切である。その内容のことを知らない先生もおら

れるので、先ず触れていただくことが必要なと思う。

委員：それを市の方に生かすということは簡単そうで難しいと思う。米原市の場合は小さい学校が多い。例えば数学の担当として学校に3人いる学校や1人だけの学校もある。その部分で横の連携を、できたら主任会で米原市全体をあげてくるとか。担任に指導といっても難しい。米原市の数学は計算ドリルを全部やらずとか、図形については5分間でできるような問題を、子ども達から自分達で作ってやらずとか、システムをつくるとか色々先生方に考えてもらったらい。先生の仕事が増えて肝心な日々の授業がおろそかになるといけない。その辺を危惧するところでもあります。

委員：小規模校、コミュニティスクールについて、市長の考え方とか何かありますか。

事務局：市長の思いは、特色ある学校というよりも小規模学校についてやはりきちっと支援していく。メリット、デメリットは当然あるだろうがメリットの部分でデメリットを克服しながら何かに特化した形で特色ある学校づくりを進めて欲しいという思いである。

委員：市内で小中学校連携として5年生6年生の授業に入るという話を聞いたが、そういう取組をしている学校はあるのか。

事務局：理科で指定の加配をもらった。

委員：米原中からそういう話を聞いたので、できたら今の柏原の場合小中一貫の取組ということが前にも出ていたので、ほかでも一回試みてもらうといい。

事務局：入江干拓マラソンに行った時に、米原中の生徒が受付をしていた。走って来る人にハイタッチしている。双葉中の子もボランティアで行っている。これは使えるなど思った。河南中の校長が来年はうちも入ると言っていた。そうなるとうつ3つの学校が参加することになる。かつとび伊吹も伊吹山中の生徒が、もう既に関わりを持っていてくれる。できたら大東中や柏原中の子ども達も、ボランティアに行ってもらえるといい。学校に来てもらう部分と子ども達が地域に出かける部分について、今後は大事にしていかなくてはならない。

委員：米原は場所的にもいい。

事務局：中学校の生徒会の交流をしていこうかと思う。いじめの問題についてどういった取組をしているのかということも含めて交流できると良い。小規模校だけでも連携を大事にしていこうというところで。

委員：流星について、きんせの森の近くで何年か前に見た。山東幼稚園の側でもやっておられた。すばらしいなという思いで見っていた。

事務局：これは大きな課題で、風向きとか国道とかJRとか新幹線を考えた時にどこで上げるのか非常に厳しい。

委員：気象条件が変わってしまうので。ここに落ちて来るだろうと思っても、全く違う所に落ちる。追いかける人は上しか見えていない。

事務局：場所の選定が難しい。直径600メートル範囲で障害物がない所を探さないといけな

いが、なかなか無い。琵琶湖湖岸とか朝妻とかくらいしかないかなと思う。

委員：一番良かったのはグリーンパークの辺り。視野が広くてどこからでも素晴らしいものが見られる。

委員：東草野中学校の地域との関わりについて今年はよろしいですけど、東草野中が休校になってしまうとせっかくいいものを伊吹山中とかに引き継がれることになるのか。それはぶつっときれてしまうのか。

事務局：そこまでは非常に難しいと思う。伊吹山中なり伊吹小と地域の繋がりという部分で、自然体験も含めて伊吹学区とそういうものを大事にしていこうという取組を創造的な学習を含めてお願いしたいところです。スクールバスがあるので動きやすいと思う。

委員：東草野中とは関わりがないので、なかなか同じようにはいかないと思います。

委員：柏原小中の特色を出すのに歴史的なものがいいなと。それが好きな子とか親が柏原に目を向けて遠距離入学なんて考えられるのですかね。地元の人がすごく熱心なのですよ。計画も地元の人からあがってきたのですね。

事務局：地元の中のグループからです。

委員：はにわ館の臭いがするということが新聞に出ていたのですが。

事務局：臭いは感じられなかった。

使い方については、昨日市長から話があったのですが、滋賀夕刊にも掲載された。

委員：直接こちらからどうこうという話ではないのですね。

事務局：こちらからの情報源ではありません。

委員：長浜の人からの情報だったんです。はにわ館にゲームをやる所があるらしいけどお客さんも少ないし使い方を模索してって新聞に出てたよと聞いた。どこからか流れ出たんですね。

事務局：これは違う取材で来られた時にはにわ館の状況を見て記者の方が色々取材して記事になったという経緯だそうです。

事務局：少しだけはにわ館の方からお話します。今回の記事は、新聞社の独自取材であると先に申ししておきます。図書館・はにわ館の玄関を入った所で、小さいスポット展示をしております、そこは今お話されたスペースとは全く違うのですが、そこでマッチのラベルを展示しております。その展示取材に当日滋賀夕刊が来ていました。その取材は一つあったのですが、その取材だけで帰られています。このテーマの話については、かつての事業仕分けの時から先方としては持っていたようです。それを今回一遍に出したという、たまたまタイミングでそうなったようです。

委員：何とか人が入ってくるように、何か方法はないだろうかという意向は若干ある訳ですね。

事務局：そうですね。今年度の中で一定の整理の方向性と色々な会議の場で練って行きたいと思っています。今までは歴史文化財の方がはにわ館を所管していたのですが、今

年図書館の方に動きましたので二つの図書館の管理と運営をどういうふうにしていこうかというテーマがありますので、まず山東図書館、次に、近江図書館、その次に、近江のはにわ館と順番に押し出していこうと思います。もう少し時間が掛かります。

委員：先に流星の話をされたのですが、今の10歳前後の子どもが40歳50歳になった時に何を覚えているだろうと思っておりまして。僕らの時ですと流星とか、醒井での大相撲があった。皆さんどう思われますか。

委員：伊吹山に登ろうをやっていますよね。自分達の湖北の里山から多和田のかぶと山とかありますが、その山に登って体験して霊仙登ってみようとか、今度は伊吹山に登ってみようとか。上がった時の景色は良かったとか、星空が綺麗だったとかお花畑が綺麗だったとかすごく残っています。やはり子ども達にも自分の身体を痛めてでもという経験が少ないと思います。伊吹山に登ろう事業はとても大事な事業の一つなんじゃないかなと思います。

委員：今の中学生にどういう体験をさせたらいいのか協議したい。

委員：あいさつ運動で立っている時に先生と話していたのですが、今年は故郷の桜を見るんですとおっしゃって、5時間目に観賞されていたことが新聞に載っていました。案外目の前に故郷のいい所がありながら指導者が見過ごしている部分がありますが、他の先生方といいことしておられるなど話していました。

委員：教育センターの地域探訪講座で課長さんに昔からお世話になっている。新しい先生が今年は多いので参加してもらいたい。

委員：今年は何か決まっているのか。

事務局：今お話をいただいているのは、新任の先生の研修が2回と地域探訪講座があります。

委員：今日の資料の中で学校教育課の方で下の方の1月分欠席状況とあるが、間違いはないのか。

事務局：3月の間違いです。

委員：校長名簿とかいただくのですが、管理職会議の時に毎年自己紹介しますよね。その時に名簿があるといいので、教務事務用務員さんはいいいのでそこを消してもらって幼稚園や保育園の先生も含めた資料があるといいかなと思う。

事務局：訂正をお願いします。学校給食課の資料で事務分掌6番の担当者名について、抹消願いたいと思います。

5 議案審議

報告第1号 専決処分の報告について

【教育総務課・学校教育課】

議案第23号 臨時代理の承認を求めることについて 承認

【教育総務課】

議案第24号 臨時代理の承認を求めることについて 承認 【生涯学習課】

議案第25号 後援等名義使用承認（共催）について 承認

○第1回滋賀県特別支援教育研究会 通級・ことばの教室教育研究部会 【学校教育課】

議案第26号 後援等名義使用承認（後援）について 承認

○湖北コア・イノベーション構想推進事業 【学校教育課】

6 協議事項

(1) 通学のあり方に関する検討委員会の設置について 【教育総務課】

委員：検討委員会は26年度中に提言をいただいて、それを基に教育委員会で一定の方向性を整理していかなくとはいけないかなと思います。会議は5回になっていますけど期間はもっといるのではないのか。

事務局：5回みっていますが会議の進捗状況に応じてそこまで回数はいらないかもしれません。

委員：教育委員会で議論する時間も必要なので、前半の方で集約した方がいい。

事務局：3回位で纏められないかなと思っています。

委員：委員構成について保護者はどういう整理をされるのか。地域のことが分かった人でないといけない。

事務局：学校の在り方検討委員会の時は、東草野は対象の地域でもあるので東草野、柏原、そして東小学校区からは例えば保護者であったら、次は学校評議員であるとかローテーションしていた。選出も難しい。当該学校の校長とか教育委員さんとかもう少し余裕を持って見られる人、中立的な方がいい。

委員：委員の案を作ってもらう段階で、教育長の発言があったようなことを考慮していただくことでお願いします。

委員：柏原のJRアンダーとあるのは、柏原の新町とかその辺のことですか。

事務局：そうです。そこに関しては自動車が危険であるということで、学校からは地元に通学路の変更を含めて検討をお願いしています。地元ではバスの運行の要望もあがっています。

7 報告事項

(1) 後援等名義使用承認（後援）について

○ 三島会・湖州会合同発表会 【生涯学習課】

○ (仮)江濃国境で考える「境目の歴史文化」連即講座 【歴史文化財保護課】

○ 平成26年度「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」に関する作文・絵画

・ポスター募集 【子育て支援課】

- 第 12 回川端旗争奪野球大会 【生涯学習課】
- 平成 26 年度こども水球教室 【生涯学習課】
- (2) 米原市体育振興員の委嘱について 【生涯学習課】
- (3) 米原市人権教育推進員の委嘱について 【生涯学習課】
- (4) 平成 26 年度米原市奨学資金の貸与予定者について 【教育総務課】
- (5) (仮称) おうみ認定こども園設置協議会要綱について 【保育幼稚園課】
- (6) 米原小学校区における保育・教育のあり方に関する提言書について 【保育幼稚園課】

委員：米原保育園は旧米原小学校の東側にあるのですが一回だけ入らせてもらったことがある。その時はまだ新しかったと思うのですが、運動場ですが、その当時職員がおっしゃっていた話では、虫が多いし木も多いし外で遊ばせないとのことだった。今はどうなっていますか。

事務局：山がすぐ近くにありますが、間伐事業を実施しておりまして非常に良い環境になっている。指定管理を受けていただいております大樹会は、あの環境がいいと言っておられます。

委員：一時保育で孫を預かってもらったことがあるのですが、自動車もそれほど来ないし、落ち葉を集めて遊んだり、環境は抜群だと思います。雪が降ればミニスキーもできますし間伐ですごく明るくなっていますし。資料を読ませていただいて感じたことは、どこまで親のニーズに応じていくのか、学校への指導、計画はすごくいいものですが、全て親のニーズに応じてしまっていていいものなのか。それなりのやる側の腹づもり、ここまではということをはっきりしておかないと病時、病後時、日曜日、受ける側が本気でないと。教育長が家庭の大事さを言うておられますが、やっぱりそこら辺は腹決めていかないと、ただ学校で靴並べよと言われるから並べてる、でも家ではめちゃくちゃとかそういう現状が明らかにでてくるのではないですかね。ある程度覚悟というものを乗せていかないと厳しいのではないかなと感じます。

事務局：日曜日に勤務をされるサービス業の方とか、そういった方のニーズをある程度把握しながら応えられる範囲でという意味合いであると思いますし、全てが公でできるという訳ではないから民の力を借りて、そういった多様なニーズに応えられる民の組織を利用しましょうというようなことも含めての中身というふうに捕らえています。ただ、当然保護者の教育力という部分については市長との議論の中にでもあつ

たのですが、保育士はただ子どもだけではなくて、保護者にも向き合える家庭教育力の向上も含めて保育者であり教育者でありたいと議論していますので。病後時の保育にしましては市全体で方向性を決めて行くというような流れにあります。

委員：本当にそれが必要な親さんもおられるだろうし、皆やるんだったらやって欲しいという人もいるだろうし、そこら辺が難しい。

事務局：この委員会の中にも米原保育園の園長も入っていただけなんです。その中で、休日保育を申し込まれる方、それから病児保育の要望もありますという御意見もおっしゃっていました。ただ、園長がおっしゃっていたのは、委員さんがおっしゃっていただいたように、全てをOKとするのではなくそこを切り口として親と話合っていくことが必要で、でもここはサポートしましょうねというやり取りをすることが必要なんだと思うということをおっしゃっていましたので、そういった意味では、親を育てていく中身も含みながら保育教育の必要性を感じる時代になっているというのは、その委員会で感じました。

委員：休日保育で預かっていただいたお子さんは、両親がお休みの時はお子さんも休んでおられるのですか。

事務局：できるだけ声かけはしていただくというのが、休日保育をされる時の条件としています。親も週一回休みがあるように、子どもにも与えてくださいねというお話はさせていただいております。

委員：現実はどうなんですか。

事務局：難しい方もありますが、基本的には受け入れていただいていると園長から伺っています。

委員：保育園に預けっぱなしですと親子のふれ合いがありませんし、保護者も平日に休みがあればみていただくということも必要じゃないかなと思う。

事務局：園長から、お父さんがお休みの日に子どもを連れて米原中保育園の地域子育て支援センターを利用されているというようなお話を伺いました。そういったいろいろなニーズを求めながら子育てをされているんだなということが、委員会の中で出てきました。

事務局：米原保育園は去年大雨があった時に、洪水が若干心配だと米原の区長さんもこの中に入ってもらって言うておられました。山裾で間伐がされて環境は良くなったものの洪水の時は心配だという意見は出ていました。こういう提言書が出て、じゃあどこでとなるのは、これからの大きな問題になってくると思います。

委員：私は米原保育園はまだ建った時のイメージがあるもので、もう老朽化という言葉が使われるんだなって。だったら米原市内でいくつあるのだろう。小学校、中学校含めて。すごいローテーションですよ。そこら辺も何かいい方法はないのだろうかと感じますね。

事務局：今後、市としての整備方針を早急に決定しまして、この方針に基づき、今後、事業

展開をして行きたいと思います。

委員：期間は。

事務局：早急にしないといけないとは思っております。米原中保育園の老朽化が進んでいて米原保育園を選んだという方がおられる。

事務局：第6回検討委員会に皆さん揃って言うておられたのは、駅の利便性ばかりを強調するのではなくて、子ども、保護者にとっての安心・安全、地域の文化や環境であったりその中で、育った子どもが故郷を愛する、そこに戻って来るような環境整備が必要だとおっしゃっていただいて、とてもありがたかったと思います。

委員：米原市全体で地域を大事にする時期に来ているのですね。

委員：提言書の25、26ページに保育者の専門性を高めるために研修を開催する、それはいいのかもしれませんが、22ページにいぶき認定こども園の検証結果を見てみると、メリットデメリットにそういうことが書かれていないのですが、認定こども園になって長時部、短時部の先生達が一同に会する機会がないのでしょうか。それと先生方との研修の関わりでプラスになるとか、マイナスになるとかそんな議論はなかったのでしょうか。

事務局：23ページのデメリットのところですね。その中の3つ目になるかと思います。『乳児と幼児の保育に対する職員の意識や、幼稚園と保育所の制度や文化の違いから、保育の推進や運用面において困難さが見られる。』

事務局：その時の認定こども園長にも来ていただいて、現状についてお話をさせていただきました。やっぱりそういうことにすごく興味を持っておられました。わざわざそのために委員になったんですとおっしゃっている方がいるので、その方も園長のお話を聞いていただいて、私の息子が居たときよりも改善されたんですねという発言をされていたのが嬉しかったです。

8 質疑応答

なし

9 その他

○公共施設使用料の改定について

【教育総務課】

事務局：この前野球の開会式に行って、料金の見直しがあり今後、決めて行きたいという話をしたけれど、今まで米原市民でほとんど無料でグラウンドを借りていたものに使用料が掛かる。スポーツ推進計画ができてもっともっとスポーツに適したまちづくりを進めようと言いながらお金を取るのかというような話が出ていると聞いた。昨日財政に寄って、そういう話があるということを書いてきたが、ここにも書いてあるけど7ページの指定管理者の取扱のところ、『減免措置について市の減免措置の規定は適用されませんが、指定管理者自らの権限において行うことができる行為と

して設定されることになります。』とこれはどのように理解すればいいのか。指定管理者はどう思ってくれるのだろうか。

事務局：指定管理者の範疇で設定できる。今までは市の決めている使用料と利用料金は同額だったんですが、今度からは使用料の1.5倍までは利用料金として設定できる。その辺指定管理の判断なり、経営方針の中で指定管理施設の一部として料金を設定することができる。ここに指定管理者の運営ノウハウが掛かってくる。

委員：減免率を下げることはできるのか。

事務局：可能になってくる。もちろん設定しましても、承認という制度はありますけどそれを市に報告して公にしないといけないという部分はありますけど。

委員：せっかく統一でやるのに指定管理者によってまちまちになっては。

事務局：体育施設、公民館を含めた施設代表者の中で、統一の会議を持ちたいと思っている。

委員：ある程度こういう方針で行くということは、指定管理者は知っているのか。

事務局：いずれ調整する場所が必要かと思う。

事務局：9時から2時まで社会人野球連盟が使われたとしたら、大体3千円位掛かると。6チームが一日使っていたら1チーム500円掛かるなど、財政には言っていたのです。その辺を良しと理解していただけるのか。色々な価値観があるので、指定管理者がある程度統一的な基準で行きましょうと共通理解が必要かなと思う。

10 閉 会

次回

第5回定例教育委員会 5月20日（火） 午後3時00分～
山東庁舎 3階 第2委員会室

以上をもって第4回定例教育委員会を午後5時に終了した。